

# 謹賀新年

花ごよみ 118号

制作・発行：井の頭自然文化園 公財) 東京動物園協会

笑い節



竹の節を少し残し斜めに切った切り口が笑った口を表します。

そぎ型



(動物園正門)



そぎ型

寸胴型



二〇一四年元旦

寸胴型



(七井門前)

寸胴型

比較的、関西地方で多  
みられる型です。



梅結び

台座の中央には松竹  
梅を意味する梅結び  
で飾りました。

門松(かどまつ)は、正月に家の門の前などに立てられる一対になった松や竹の正月飾りです。

昔の人は木の梢(こずえ)に神が宿ると考えていたことから、門松には年神を家に迎え入れるための目印という意味を持っています。

地域により、様式や設置期間に差がありますが12月31日に飾る「一夜飾り」や29日に立て

る事を「九松」と言い「苦待つ」と捉え、避ける事が多いです。

門松の歴史は平安時代に中国から伝わりました。室町時代には現在の様式になったといわれています。

竹の先を尖らせた型を「そぎ」と呼び水平に切った型を「寸胴」と呼びます。

「そぎ」は徳川家康が生涯唯一の敗北をし

た「三方ヶ原」の戦いのあと門松の竹を武田に見立て斜めに切り落としたのが由来との説があります。

井の頭自然文化園ではこの2種類の門松を1月13日成人の日まで展示しています。お楽しみください。